

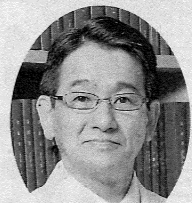
きょうと健康スタイル

VOLUME 4

胃がんの原因は ピロリ菌です

きょうと健康スタイル 検索

現在、胃がんが原因により全国で年間5万人が、京都府でも約千人が命を落とされています。胃がん予防について、京都府立医科大学附属病院内視鏡・超音波診療部長の内藤裕二先生にお聞きしました。

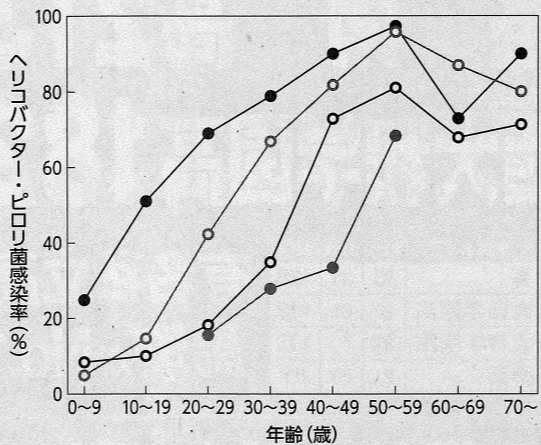


京都府立医科大学附属病院
内視鏡・超音波診療部 部長
内藤 裕二先生

胃がんの原因としては塩分の取り過ぎ、焦げた焼き魚を食べるなど、さまざまな研究がされましたが、近年、ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ菌）が原因であることが分かりました。

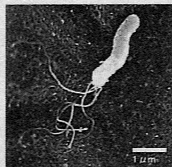
日本人の胃がんの99%はピロリ菌が原因で2〜3人に1人が感染しています。60歳以上は80%を超える人の感染が明らかになりました。

日本のピロリ菌感染率の割合は急速に低下



● 1974年 ○ 1994年
○ 1984年 ● 2003/2004年

Fujisawa T, et al: Am. J. Gastroenterol. 94 (8), 2094-2099, 1999
Kawai T, et al: J. Gastroenterol. Hepatol. 25 Suppl 1, S80-85, 2010



ヘリコバクター・ピロリ菌

がんを含む全ての病気において予防に勝る治療はありません。2013年日本では世界で初めてピロリ菌感染胃炎に対する除菌治療が保険適用され、胃がん予防に向けた第一歩を踏み出しています(胃がんの一次予防)。しかし、除菌療法によって完全に胃がん予防が可能になるわけではなく、除菌後の胃がん発見もまれではありません。胃がんで亡くならないためには、ピロリ除菌だけでなく定期的な検診が重要です(胃がんの二次予防)。早期発見、早期治療ができれば「がん」治せる病気です。ピロリ菌に感染しても、胃炎が進んでいても、早期胃がんが発生しても、症状はないことがほとんどです。

症状がないうちから定期的に検診を受診し、がんを早期発見し治療することが大切です。

検診の種類はエックス線バリウム検査や内視鏡検査があります。皆さん、積極的に胃がん検診を受けましょう。

胃がん検診については、医療機関をはじめ、市町村や職場での健診などで受けることができます。各自治体での検診をご希望の場合、お住まいの市町村にお問い合わせください。また、要精密検査と判断されたら、必ず精密検査を受診しましょう。

京都府健康福祉部健康対策課

京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町 Ⅷ 075・414・4766

次回は3月15日に掲載予定です。